

小笠原村社会福祉協議会

小笠原村について

人口

2,467人 { 父島：2,047人
母島：420人
(令和7年10月1日現在)

アクセス

東京（竹芝桟橋）から船1本！

※「おがさわら丸」の就航は1～2便/週、シーズンや天候によって増減します。
※母島へ行くには、父島にて「ははしま丸」へ乗り換える必要があります。
※旅客機によるアクセス手段はありません。



父島・二見港



地図画像提供：母島観光協会

小笠原村での暮らし

不便！

本土から約1,000kmも離れた島なので、何かと不便なこともあります。

出張や里帰りは、村民にとって海外旅行並みの一大事。本土に比べれば医療や介護の設備も少ないので、命を守るために大海原を渡ることも。

当たり前が、当たり前じゃなく思えてくるのは、ある意味とても素敵なことでもあります。

「好き」がたくさん！

世界自然遺産でもある小笠原諸島には、多様な「好き」に応える底力があります。

動物、植物や天文などの自然環境系はもちろん、スポーツ系、音楽系、制作系など様々なサークル活動やイベントが父母両島で頻繁に行われています。

また、多くの固有種や天然記念物で溢れる小笠原ですが、住民にも固有種（失礼！）が多い印象です。独特な経験や価値観、特技などを持つ方も多く、様々な出会いに満ちています。



画像提供：母島観光協会



画像提供：母島観光協会



暮らしを支える小笠原村社協の5つの柱

小笠原村社会福祉協議会

父島事務局・母島事務局

【地域福祉事業】

安心して暮らせるまちづくりに繋がる事業
子育て支援、高齢者支援など、内容は多岐

【ボランティア活動推進事業】

地域の支え合いによる互助体制の整備

【在宅福祉事業】

日常生活支援、配食サービス、介護予防事業など

【施設管理事業】

地域福祉センター（父島）や母島村民会館などの管理、
雇用の創出と自立支援

【助葬事業】

火葬や葬儀の支援・実施 人生の最後までを支える事業

父島：こどもまつり



母島：クリスマス子ども大会



上級救命講習会（父島・母島）



故人を偲ぶ会の実施支援
（母島村民会館にて）

